

# 「教育の質向上サイクル」活動例 物質理工学院

PLAN	DO	CHECK	ACT
<p>教育将来構想ワーキング(以下、教育構想WG)を設置する。教育構想WGは学院長、担当副学院長、学院長指名教員から構成する。</p>	<p>系・コース教育WG教員から、授業の実施状況を聞き取り、改善すべき点がある場合には適切な措置を行う。学院内の措置では対処できない場合には全学的な観点からの施策を上申する。</p>	<p>教育構想WGは教員への面談を行い、教育の質向上のための意見交換を行う。</p>	<p>・教育実施WGからの答申と教員インタビューの内容を踏まえ、教員の担当変更や担当のチーム化などによるスキル向上を提案し、教育の質向上に務める。 ・講義の統合や廃止、および新設案を決定し実施する。講義新設や実験設備の新設・更新など、教育質向上のために必要な予算案を策定し、学院財務に答申する。</p>

学院レベル

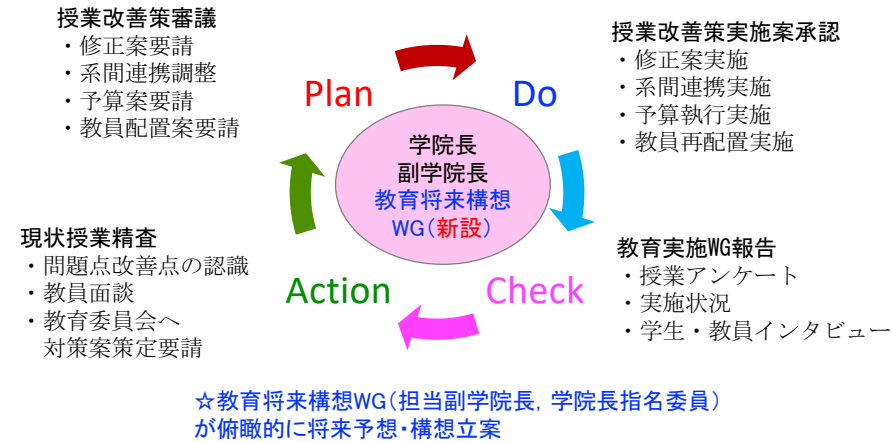
PLAN	DO	CHECK	ACT
<p>教育実施ワーキング(以下、教育実施WG)を設置する。教育実施WG参画者は、系主任(副主任)、コース主任(副主任)、教育委員から構成する。</p>	<p>授業担当者からの生の声を聞き、教育内容の適切性や進捗度について適切であるかどうか意見交換し、早急の措置が必要である場合には関連教員と相談し、対策を立案し、実施する。</p>	<p>教育実施WGは受講生への個別インタビューを行い、受講生からの生の声を収集し、分析する。 特に大学院授業については英語化に伴う受講生の理解度・習熟度について調査を行い、状況分析する。</p>	<p>・科目分野WGからの答申、受講生インタビューの分析結果および教員へのインタビューを行い、これらを合わせて教育室向上のための施策を立案する。この施策は教授法の改善案ばかりでなく設備更新案策定もを行い、教育構想WGに上申する。 ・授業科目の統合や廃止、および新設案の策定を行い、教育構想WGに上申する。</p>

系・コースレベル

PLAN	DO	CHECK	ACT
<p>科目分野別、例えば、有機化学系科目、プロセス系科目、無機材料化学系科目・・・など、ワーキンググループ(以下、科目分野WG)を設置する。</p>	<p>授業を実施し、日々的小テストや関連演習科目の出来映え等を情報交換し、授業の進め方について、授業担当者間で調整を行いながら修正する</p>	<p>科目分野WGに参画する教員による定期的な講義参観を行い、参観後相互意見交換を行い、改善点や伸張点などを相互認識する。</p>	<p>科目分野WGにて、教育の質向上に結びつく具体的な施策を策定し、系コースレベルの教育実施ワーキング(以下、実施WG)に上申する。実施WGと調整の後、教育質向上施策を実行する。</p>

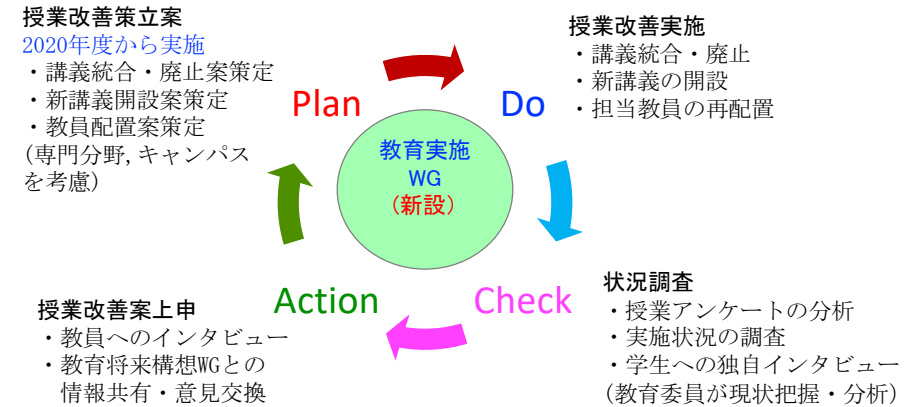
授業担当者レベル

## 教育質向上サイクル(PDCA) 物質理工学院レベル



## 教育質向上サイクル(PDCA) 物質理工学院・系コースレベル

各系で教育実施ワーキング設立 (系長, 副系長, コース長, 教育委員)



## 教育質向上サイクル(PDCA) 物質理工学院・各講義・学生実験レベル

科目分野別ワーキング(有機化学, ..., 反応工学, ..., 応化実験, ...)が講義, 実験の内容, 実施状況を分析し, 改善案を策定

